

令和5年度

3 ポリシー（入学者受入れの方針、教育課程編成・実施の方針、  
卒業認定・学位授与の方針）に照らした取組に関する意見聴取  
報告書

総合福祉学部

社会福祉学科  
福祉心理学科  
福祉行政学科

総合マネジメント学部

産業福祉マネジメント学科  
情報福祉マネジメント学科

教育学部

教育学科

健康科学部

保健看護学科  
リハビリテーション学科  
医療経営管理学科

2024年2月8日

総務部企画課

## 令和5年度 3 ポリシーに照らした学外意見聴取回答票

No.	質問事項・視点
1	<p><b>【質問】学部・学科のポリシー全般についてご意見ください。</b>  <b>〈誤字や表現方法などでも構いません〉</b></p> <hr/> <p><b>【総合福祉学部】</b>  カリキュラム・ポリシーにおいて幼年期から老年期にわたる人の一生における福祉についてをそれぞれの学科で多面的に考えられるカリキュラム編成になっている点は大変興味深いと感じられた。また、各学科において「入学前教育」「初年次教育」「基盤教育」「専門教育」「資格取得・キャリア教育」の5分野で記述されているところは大変分かりやすい。特に「資格取得」の欄がここに設けられていることによって、将来を見据えた学科選択が可能になっているものと思われる。</p> <p>アドミッション・ポリシーについては、各学科において「卒業後の進路・将来像」が入っているため、受験生が学科選択を行う上で大変分かりやすいものになっている。</p> <p>ディプロマ・ポリシーについては、各学科において、「興味・関心」「知識・技能」「実践的理解」の3観点での記述になっている点は新学習指導要領とリンクした視点が明確になっていると感じられ、高校教育からの繋がりを意識できるものになっていると思われる。</p> <p><b>【社会福祉学科】</b>  カリキュラム・ポリシーについては、「入学前教育」の中で、履修において必要部分の高等学校の履修内容の補習を企画しているところは、生徒にとって中高の学習内容の繋がりを再認識でき、より専門的な学習への意欲が高まるのではないかと思われた。しかし、④の「専門教育」についての記述は抽象的で、福祉行政学科のような記述形式であるとさらに分かりやすくなると思われた。</p> <p>ディプロマ・ポリシーについては、3つのレベルが示されているが、ルーブリック等で示された基準に基づいて判定する点やそれが所定の認定基準（国家試験等）の合格水準に達しているものであると記述している点は、学科への魅力感が増すのではないかと感じられた。</p> <p><b>【福祉心理学科】</b>  アドミッション・ポリシーの中に、「卒業後の進路」やカリキュラム・ポリシーの「資格取得・キャリア教育」については、大変興味深い資格が取得できる学科であり、大変魅力を感じられた。しかし、カリキュラム・ポリシー④の「専門教育」についての記述は抽象的であり、福祉行政学科のような記述形式であるとさらに分かりやすくなると感じられた。</p> <p><b>【福祉行政学科】</b>  アドミッション・ポリシーの「知識・技能」については、「社会的な奉仕活動などを通じ広く評価を得ている人」という内容も盛り込まれており、他の2学科よりも具体の技能が詳細に記述されていて分かりやすいと感じられた。</p> <p>カリキュラム・ポリシーの④「専門教育」については、より具体で記されており、学習内容をイメージしやすいものになっている。</p> <p>ディプロマ・ポリシーの「知識・技能のレベル」「(1)知識・理解」についても、「基礎的知識」「専門的知識」「応用的知識」に分類されており、より具体で捉えられる内容になっている。</p>
2	<p><b>【質問】学科が目標とする学位授与方針（DP）の達成に向けて、教育課程の編成・実施の方針（CP）に基づいたカリキュラム（授業）が用意されているかご意見ください。</b></p> <p><b>【目的】</b>  学科の「教育研究上の目的」を実現するために、学科が目標とする DP の達成に向けて、CP が十分妥当であるか、学科自らが検証するため  ※1 カリキュラム一覧やカリキュラムマップをご覧ください。  ※2 履修モデルが多数ある学科においては、気になるモデルに絞ったご意見で構いません。</p> <hr/> <p><b>【社会福祉学科】</b>  ディプロマ・ポリシーの中の「人々の生活で起きている現象に関心をもって理解を深める」点については、「ジェンダー論」「社会福祉論」「ユニバーサルデザイン論」「家族社会学」「地域</p>

	<p>福祉」「包括支援体制」「社会的養護」「子ども家庭支援論」「社会調査法」「生命倫理学」等、社会の様々な分野における講義や演習が用意されており、人々の生活で起きている社会福祉に関わる現象について関心を持つ機会が十分に与えられていると捉えられる。</p> <p>また、履修系統図があることにより、それぞれの具体の資格に向けての科目内容の縦横の繋がりが可視化されており、より専門性を深められたり、効率の良い履修が可能になっていて分かりやすいと感じられる。</p> <p>しかし、冒頭の3ポリシーのところに書かれている「ディプロマ・ポリシー」と「社会福祉学科のディプロマポリシー」のところに書かれている内容のリンクが必要であると感じられた。同じような文言で構成した方がよいのではないかと感じられた。また、後述の「社会福祉学科のディプロマポリシー」の中の⑧「最後まで」という観点内の文言は再考が必要ではないかと感じられた。</p> <p><b>【福祉心理学科】</b></p> <p>履修系統図については、分野毎になっているものであるため、履修の流れは見えるが、それぞれの資格を取得する上での履修の流れも見えるものがあるともっと履修に意欲が沸くのではないかと思われた。</p> <p>しかし、冒頭の3ポリシーのところに書かれている「ディプロマ・ポリシー」と「福祉心理学科カリキュラムマップ ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）」のところに書かれている内容のリンクが必要であると感じられた。同じような文言で構成した方がよいのではないかと感じられた。特に、後述のもの3、4、5、6の内容が前述部分のどこに該当するのか分かりにくいものと感じられた。</p> <p><b>【福祉行政学科】</b></p> <p>履修系統図（福祉行政学科）は系統毎に分類されていて大変分かりやすいものになっていると思われた。</p> <p>しかし、冒頭の3ポリシーのところに書かれている「ディプロマ・ポリシー」と「総合福祉学部 福祉行政学科 カリキュラムマップ ディプロマポリシー（学位授与の方針）」のところに書かれている内容のリンクが必要であると感じられた。同じような文言で構成した方がよいのではないかと感じられた。</p>
3	<p><b>【質問】入学者受入れの方針（AP）を満たす人（高校生など受験生）を得るためには、どのような入試内容（学力試験や面接など）が適していると思いますか。複数ある場合は、優先順にご記入ください。</b></p> <p>〈入学試験方法（例：総合型、推薦、一般など）ごとの意見や、学科ごとまたは学部全体での意見でも構いません。〉</p> <p>※3 入学者選抜の詳細は、資料8の入試ガイド2024をご覧ください。</p> <p>総合型選抜のような入試スタイルが一番適合していると考えられる。特に学校推薦型選抜に導入している「リエゾン教育プログラム」を活用した「高大接続入試」のように、一定期間学生に講義等を受講させる形式は、高校生が上級学校で学ぶ動機付けに大きく寄与していると感じる。</p> <p>一般入試が大枠を占めている現状では、いわゆる「学力」と言う「もの差し」でしか生徒の力を測れないため、今後は縮小していく方が望ましいのではないかと個人的には感じる。</p>
4	<p><b>【質問】学生の学修成果の可視化といった観点から、当該学科の学生が卒業までに身に付けるべき資質・能力ならびにその到達度合、いわゆるディプロマ・サプリメント（※4）に記載すべき項目や、測定すべき学修成果の内容等についてご意見ください。</b></p> <p>〈学部全体、もしくは学科ごとどちらでも構いません。〉</p> <p>DS「学位や資格の内容の他にジェネリックスキルとして対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力、情報収集力、分析力、課題発見力、構想力、言語処理能力、主体性、協調性等、学部や学科の平均値と比較しレーダーチャート等において表記したもの」とあったが、自分の学習成果を可視化するものとして、学位や資格名が明記されている書面ができることは、非常に自信と励みになるものであると感じ、長い目で見てもよい取組だと感じられる。しかし、ジェネリックスキルとして、様々な個々人の力の面においてある意味評価が明記されてしまうのは、メリットも多々あるとは思えるが、デメリットも大きいように感じられる。評価が発行された後に、その評価が全く更新できる機会がないとすれば、それはかえって長い人生の中での自分</p>

	自身の劣等感部分としての認識になってしまう恐れもあると感じられる。発行するのだとすれば、その評価をリベンジできる機会も必要になってくるのではないかとも思われる。
5	【質問】その他、お気づきのことがあればご記入ください。 特になし

※4 ディプロマ・サプリメント（DS）とは、日本語で言えば学修到達レポートとよばれる学生個々人の取得した学位や資格の内容についての「説明書」（呼び名の一例ですが）のことをいいます。近年では、DSを導入し、学生が卒業時に身に付けた力を客観的に提示できる制度を導入する大学が増えています。

内容の例をあげれば、学位や資格の内容の他にジェネリックスキルとして対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力、情報収集力、分析力、課題発見力、構想力、言語処理能力、主体性、協調性、など、学部や学科の平均値と比較しレーダーチャート等において表記したものです。

本学においては現時点では導入していませんが、導入に向けご意見を参考にしたいと存じます。

## 令和5年度 3 ポリシーに照らした学外意見聴取回答票

No.	質問事項・視点
1	<p><b>【質問】学部・学科のポリシー全般についてご意見ください。</b>  <b>〈誤字や表現方法などでも構いません〉</b></p> <hr/> <p><b>【教育学部】</b>  教育学部は講義、実習、演習という多面的な学習が重要視されており、貴学の「行学一如」（理論と実践の融合）という建学の精神と一致していることがポリシーとしての納得感を増していると感じました。  カリキュラム・ポリシーについて、福祉系科目や心理学系科目の学びが貴校の強みであると理解しました。他大学でも同科目を設置している場合が少なくないように思いますが、他校と比較した上で貴校にしかない強みを記載するとよりアピールになるのではないかと考えます。  また、ディプロマ・ポリシーの「保護者を受容的に支援」という記載について、文面上少々突発的な表現である印象を持ちました。保育・教育を実践するにあたって保護者を支援することは非常に重要であり、結果的に子どもの支援につながることは理解できますが、ディプロマ・ポリシーにその必要性を表現するならばアドミッション・ポリシーやカリキュラム・ポリシーにも保護者支援について記載し、そのプロセスを迫る表現の仕方にと読み手の納得感が深まるのではないかと思います。</p> <p><b>【教育学科】</b>  アドミッション・ポリシーには卒業後の職業として保育士・幼稚園教諭・教諭等を目指していることが条件となっており、資格取得のための学科という印象を受けました。  大学は資格取得に加え、学際的な知を修得するための最高学府であることから、資格取得に加え、社会でどのような人材として活躍することを期すか、教育機関として具体的なビジョンを描くことで受験生や保護者から一層の共感を得ると感じました。</p> <p><b>【総合マネジメント学部】</b>  学部の方針（学部が教育研究上の目的）として、幅広い職業人育成の養成を目指されており、具体的な育成すべき人材像として「人や社会の様々な問題・課題に取り組むためのマネジメント知識と能力を備え、社会や地域への貢献を実現するためのリーダーシップを発揮しうる人材」を掲げられている点に共感いたしました。  また、この方針に基づく教育上の成果として、他学部と比較し企業への就職割合が高いという特徴があるのだと思います。</p> <p><b>【産業福祉マネジメント学科】</b>  学科の教育研究上の目的が、「健全な経営(マネジメント)や地域貢献を実現できる人材育成」と定められており、卒業後の進路・将来像では、広く総合型の企業人や、起業家、公務員など幅広い職業選択の可能性が示唆されており、受験生のみならず保護者からも卒業後の進路に期待を持たれる学科であると感じました。</p> <p><b>【情報福祉マネジメント学科】</b>  学科が定める教育研究上の目的が、「人や社会の様々な問題を掘り起こし、ICT を駆使して、調査・分析・解決できるマネジメント能力に優れたリーダー的人材ならびに自利・利他の精神を持った創造性豊かな人材を育成」と定められており、産業福祉マネジメント学科との棲み分けが理解しやすいと感じました。</p>
2	<p><b>【質問】学科が目標とする位授与方針（DP）の達成に向けて、教育課程の編成・実施の方針（CP）に基づいたカリキュラム（授業）が用意されているかご意見ください。</b></p> <p><b>【目的】</b></p>

	<p>学科の「教育研究上の目的」を実現するために、学科が目標とする DP の達成に向けて、CP が十分妥当であるか、学科自らが検証するため</p> <p>※1 カリキュラム一覧やカリキュラムマップをご覧ください。</p> <p>※2 履修モデルが多数ある学科においては、気になるモデルに絞ったご意見で構いません。</p> <p><b>【教育学部】</b></p> <p>両専攻ともカリキュラムに特別支援教育を設置しており、子どもの発達面における理解を重視されていることが伺えます。特別支援教育の学びは、カリキュラム・ポリシー④専門教育にある子ども一人一人に応じた指導力の発揮において必須となる知識であり、ポリシーとカリキュラムが合致している印象を受けました。</p> <p>また、実際に特別支援学級に通所する子どもは、公的支援や療育サービスを利用している場合が可能性として考えられます。子どもを取り巻く環境を理解するために、サービスを提供している自治体や事業所等との横のつながりを意識できる学習があるとよいのではないのでしょうか。</p> <p><b>【産業福祉マネジメント学科】</b></p> <p>学科の教育研究上の目的に「<u>地域密着型</u>で自身が新しい事業を興する創業的な志を持つ起業家として、健全な経営(マネジメント)や<u>地域貢献を実現できる人材を養成</u>」とあり、この達成に向けたディプロマ・ポリシー①に、「社会科学における様々な分野への興味と<u>東北の地域課題に関心を持ち、フィールドワークを通して実践的で学際的な議論ができるよう研鑽している。</u>」と定められております。</p> <p>このため、学科のカリキュラムにおいて東北の地理・歴史・文化・産業・災害復興を理解することを目的とした「東北の地域課題」や「東北学」などの科目を必修科目とされることで、学科生全員の東北に関する知見が深化し、より一層ディプロマ・ポリシーの達成につながると感じました。</p> <p><b>【情報福祉マネジメント学科】</b></p> <p>ディプロマ・ポリシーが定める知識・技能レベルとして②に「情報科学と社会福祉学の基本的な知識と技能を体系的に有し、その位置付けについて説明できる。」とあります。</p> <p>各学問を体系的に説明するためには、基礎教育から専門教育までを一貫して修得する必要があると考えます。</p> <p>このため、カリキュラム・ポリシーのが定める専門教育においても、「社会福祉学」に関わる科目について言及されるとより良いと感じました。</p>
3	<p><b>【質問】</b> 入学者受入れの方針 (AP) を満たす人 (高校生など受験生) を得るためには、どのような入試内容 (学力試験や面接など) が適していると思いますか。複数の場合は、優先順にお答えください。</p> <p>〈入学試験方法 (例: 総合型、推薦、一般など) ごとの意見や、学科ごとまたは学部全体での意見でも構いません。〉</p> <p>※3 入学者選抜の詳細は、資料 8 の入試ガイド 2024 をご覧ください。</p> <p><b>【教育学部】</b></p> <p>総合型選抜探求型入試及び学校推薦型選抜入試での入学者が募集定員の半数以上を占めていますが、両入試とも試験内容に「志望理由書」の作成が含まれていることから、アドミッション・ポリシーを理解した上で入学する学生が多く、入学後の学びにおいてもミスマッチが生じにくいと考えられます。</p> <p>このため、現在の選抜方法は有効に機能しているのではないかと感じました。</p> <p><b>【総合マネジメント学部】</b></p> <p>総合選抜型スポーツ文化型入試の募集人数が募集定員の約 2 割を占めており、これは他学部と比較しても突出して高い割合となっております。</p> <p>出願時に志望理由書もあるため、アドミッション・ポリシーを理解した上で入学されることと思いますが、出願時の評定平均値も総合型選抜探求型入試とは異なるため、入学前教育において一定水準の指導が必要ではないかと感じました。</p>

4	<p><b>【質問】</b> 学生の学修成果の可視化といった観点から、当該学科の学生が卒業までに身に付けるべき資質・能力ならびにその到達度合、いわゆるディプロマ・サプリメント（※4）に記載すべき項目や、測定すべき学修成果の内容等についてご意見ください。 〈学部全体、もしくは学科ごとどちらでも構いません。〉</p> <hr/> <p><b>【教育学部/総合マネジメント学部】</b> 両学部共通で「カリキュラムマップ」に記載のディプロマ・ポリシーとして挙げられている項目が具体的な能力・資質として理解しやすいため、この内容をディプロマ・サプリメントへ記載するのが良いと思います。 一方、「教育研究上の目的および3ポリシー」に記載のディプロマ・ポリシーと項目の内容が一致していない点が気になりました。</p>
5	<p><b>【質問】</b> その他、お気づきのことがあればご記入ください。</p> <p><b>【情報福祉マネジメント学科のHPについて】</b> 「よくある質問」→「進路・資格編」→「情報福祉マネジメント学科で学ぶと、将来どのような職業に就くことが期待できますか？」 の回答にある大学ガイドのリンクが2021年版となっております。 <a href="http://tfu.ac.jp">情報福祉マネジメント学科へよくある質問   情報福祉マネジメント学科   東北福祉大学 (tfu.ac.jp)</a></p>

※4 ディプロマ・サプリメント（DS）とは、日本語で言えば学修到達レポートとよばれる学生個々人の取得した学位や資格の内容についての「説明書」（呼び名の一例ですが）のことをいいます。近年では、DSを導入し、学生が卒業時に身に付けた力を客観的に提示できる制度を導入する大学が増えていきます。

内容の例をあげれば、学位や資格の内容の他にジェネリックスキルとして対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力、情報収集力、分析力、課題発見力、構想力、言語処理能力、主体性、協調性、など、学部や学科の平均値と比較しレーダーチャート等において表記したものです。

本学においては現時点では導入していませんが、導入に向けご意見を参考にしたいと存じます。

## 令和5年度 3 ポリシーに照らした学外意見聴取回答票

No.	質問事項・視点
1	<p><b>【質問】学部・学科のポリシー全般についてご意見ください。</b>  <b>〈誤字や表現方法などでも構いません〉</b></p> <p>全体に昨年度に比べ大変分かり易くなっており、高校生にも理解しやすい記述になっている点は高く評価できます。</p> <hr/> <p><b>【健康科学部】</b>  問題ないと思います。</p> <p><b>【保健看護学科】</b>  記述の内容は、分かり易く問題ないと思います。順番ですが、</p> <p>1) 入試方法  2) 入学可否の判断  入学考査の結果、以下の・・・。</p> <p>としては如何でしょうか？「卒業後の進路・将来像として・・・」は、①意欲・適正に記述した方がよいと思います。</p> <p><b>【リハビリテーション学科】</b>  高校卒業の段階で、リハビリテーション、作業療法学、理学療法学の違いの理解は困難と思いますので、教育研究上の目的の中に、簡単な説明を加えた方がよいと思います。貴学のキャンパスガイドブック P41 と P43 に分かり易い記述がありますので、「理学療法学とは、自立した日常生活が送れるように支援するリハビリテーションの一分野です。」「作業療法学とは、機能の回復に加え日常生活・就労や就学などの対象者の生活における重要な作業を獲得できるように支援するリハビリテーションの一分野です。」など。</p> <p><b>【医療経営管理学科】</b>  医療経営管理学科で、診療情報管理士になるために学ぶことが出来るのは容易に理解できますが、救急救命士になるための学習は、医療情報管理のコースとは異なったコースを選んで行うのですか？それとも医療経営管理学科で勉強すると診療情報管理士と救急救命士になるための勉強が同時にできるのでしょうか？この点を分かり易く記述する必要があると思います。</p>
2	<p><b>【質問】学科が目標とする学位授与方針（DP）の達成に向けて、教育課程の編成・実施の方針（CP）に基づいたカリキュラム（授業）が用意されているかご意見ください。</b></p> <p><b>【目的】</b>  学科の「教育研究上の目的」を実現するために、学科が目標とする DP の達成に向けて、CP が十分妥当であるか、学科自らが検証するため</p> <p>※1 カリキュラム一覧やカリキュラムマップをご覧ください。  ※2 履修モデルが多数ある学科においては、気になるモデルに絞ったご意見で構いません。</p> <hr/> <p><b>【保健看護学科】</b>  授業のカリキュラムは、必要な範囲をカバーしており、良く練られていると思います。</p>

	<p><b>【リハビリテーション学科】</b> 授業のカリキュラムは、必要な範囲をカバーしており、良く練られていると思います。</p> <p><b>【医療経営管理学科】</b> 授業のカリキュラムは、必要な範囲をカバーしており、良く練られていると思います。診療情報管理士、救急救命士、各々に必要な項目も分かり易く記述されています。</p>
3	<p><b>【質問】</b> 入学者受入れの方針（AP）を満たす人（高校生など受験生）を得るためには、どのような入試内容（学力試験や面接など）が適していると思いますか。複数の場合は、優先順にお答えください。 〈入学試験方法（例：総合型、推薦、一般など）ごとの意見や、学科ごとまたは学部全体での意見でも構いません。〉</p> <p>※3 入学者選抜の詳細は、資料8の入試ガイド2024をご覧ください。</p> <hr/> <p>受験しやすくするには、入学試験の項目を絞るべきだと思います。以下、学科別に意見を述べさせていただきます。</p> <p><b>【保健看護学科】</b> 推薦による選考 高校時代の学業成績を付記した推薦書による選考が良いと思います。看護師という職業は、高校側でも理解されていると思いますので、高校学校の教員により適正があると考える学生を推薦して頂くのが良いと思います。</p> <p><b>【リハビリテーション科】</b> 面接による選考 リハビリテーション科の理学療法士や作業療法士の業務内容は一般の理解は十分とは言えません。従って、面接において理学療法士や作業療法士の理解や目指す意思を確認する必要があると思います。その際に、資格取得のための学力も内申書と口頭質問で確認するのがよいと思います。</p> <p><b>【医療経営管理学科】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学力試験 医療情報管理士を目指すには、基礎学力のレベルが重要と想います。将来の伸びる可能性を加味するのであれば、入学後の伸びしろがあまり期待できない教科（英語？）のみの試験とするのがよいと思います。</li> <li>2. 面接 救急救命士も比較的工作内容が知られている職種と思われるので、面接で意思の確認を行い、必要な学力は内申書や口頭試問でチェックする方法が良いと考えます。</li> </ol>

4	<b>【質問】 その他、お気づきのことがあればご記入ください。</b>
---	-------------------------------------

※4 ディプロマ・サプリメント（DS）とは、日本語で言えば学修到達レポートとよばれる学生個々人の取得した学位や資格の内容についての「説明書」（呼び名の一例ですが）のことをいいます。近年では、DSを導入し、学生が卒業時に身に付けた力を客観的に提示できる制度を導入する大学が増えています。

内容の例をあげれば、学位や資格の内容の他にジェネリックスキルとして対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力、情報収集力、分析力、課題発見力、構想力、言語処理能力、主体性、協調性、など、学部や学科の平均値と比較しレーダーチャート等において表記したものです。

本学においては現時点では導入していませんが、導入に向けご意見を参考にしたいと存じます。